

NPO法人オンザロード 東日本大震災プロジェクト活動報告書

平成 23 年 8 月 9 日～ 8 月 16 日

【石巻市基本情報】

- 担当地域名：宮城県石巻市渡波地区、女川町周辺
- 避難者人数：石巻市 2,179 人 / 女川町 304 人
- 指定避難所数：石巻市 63 / 女川町 8
- 全壊家屋数+半壊家屋数：石巻市 22,603 / 女川町 3,296
- ライフラインの復旧状況：石巻市内では電気、都市ガスは復旧、水道に関してはほぼ復旧しています。女川町では電気、水道はほぼ復旧、ガスは被害はなし。 ※8月23日宮城県調べ

■現在の活動内容：



お盆期間は、県外から帰省した家族とゆっくり過ごしたいという住民の方々の気持ちを汲み取り、日常おこなっている支援活動（片付け、仮設住宅お助、引越しサポートなど）を一時休止し、各地で行われた祭のサポートを中心に復興支援活動を行いました。

□各班の活動内容



●片付け班

- ・延べ 145 人
- ・終了件数：20 件
- ・担当地区：石巻市渡波、尾崎
- ・廃棄物回収量：134t / 総側溝長 120m
- ・ブロック塀撤去：20m
- ・解体作業件数：2 件

特殊な機械や工具を使ってブロック塀を撤去したり、解体作業をしたりする特殊工作部隊に、専門技術を持つ人員が整ってきたこと、またニーズが挙がってきたことで、活動の幅が広がっています。暑い中、外での作業が主になる為、熱中症対策などを常に行いながら、作業を進めていきます。先週の福島遠征の影響でダンプが使えず、側溝の掃除で溜まっていた土のう袋の撤去も、お盆前に処理をすることができませんでした。



●漁業支援班

- ・延べ 28 人
- ・担当地区：石巻市渡波

今週は主に、海苔養殖再生支援を行いました。海苔の加工機械に、津波の被害でへばりついてしまった海苔。剥がさなければ修理ができないということで、2つの工場で 18,000 枚の海苔を剥がしました。そして海苔養殖に使用する、いかだを作るお手伝いということで、いかだと網の接続部に使用するロープを約 9,300 個作りました。活動地区の渡波、万石浦湾は海苔や牡蠣を養殖するのに最も適した地域となっており、海外にも知られています。名産を少しでも早く味わえる日が来るよう、全力で支援していきます。

■今後の予定：

お盆が明け、第2期も残り1ヶ月半となりました。復興者の自立支援、仮設住宅のコミュニティ作りなど、多くのマンパワーを必要とする片付け作業などから、適材適所の人員を配置する活動に変化しています。顕著に変化が見える活動ではありませんが、復興者や支援者の方々に寄り添い、長い目で復興を支えられるように、8月末の目標、9月末の目標を計画立てて活動していきたいと思ます。

■課題、ミッション：

ボランティア参加者の方の装備不良（持ち物忘れ）が目立ってきています。より多くの方にボランティアに参加していただきたいとオンザロードは考えますが、装備不良があると、安全管理の為に現場へ出ていただくことが難しくなります。ホームページやボランティア受付メールで、必要な持ち物をしっかりと現場に持ってきて頂けるような意識付けを考え、復興支援活動の円滑化を図ります。